

(5) 兄弟たち

兄（長男）・丸山鐵雄（1910～1988）

丸山が「悪いことは全部兄貴に教わった」と回想するほど強い影響を与えた。「おふくろがいなかったら、兄貴は危なかったです。本当の不良になったかもしれないです」という。京都帝国大学経済学部に進み、河上肇ゼミに所属。1933(昭和8)年の京大事件（瀧川事件）では瀧川幸辰への処分の撤回を求めて活動した。事件後、『大阪朝日新聞』京都版に軍歌「戦友」の替え歌「戦友（大学の歌）」を投書している。しかし1936(昭和11)年の2.26事件に際しては、その捉え方をめぐって丸山と大激論になったという。大学卒業後は日本放送協会（NHK）に入り、音楽プロデューサーとして活躍した。NHK退職後は日本コロムビア取締役などを歴任した。丸山の洋楽趣味も鐵雄に由来するが、それはポピュラーなものにはじまり、やがて丸山がクラシック一辺倒となっていくのに対して、鐵雄は「どっちかというとならば歌謡曲の方へ行って、ずっとその後、別れて」しまった。

弟（三男）・丸山矩男（1917～2004）

東京帝国大学理学部卒業。

弟（四男）・丸山邦男（1920～1994）

早稲田大学文学部中退。月刊『丸』編集部に所属。のちにフリーとなり、70年安保闘争では

「独立ジャーナリスト群団」を結成して活動している。

（画像：左から丸山鐵雄・丸山邦男・丸山矩男・丸山眞男〈丸山彰氏提供〉）

